

障害者生活支援センターともしび園についての意見集約票

①論点	②市として確認したい事項	③カテゴリ	④ご意見または、会議で確認したい事項等
市立障害者施設として担うべき役割について	市立障害者施設として、今後、ともしび園が担うべき役割(サービス)について何が考えられますか。また、どういったことに期待しますか。	-	<ul style="list-style-type: none"> ●障害者の生活を支援する市の施設として、生活支援やショートステイなどは必要不可欠であると思われる。施設での取り組みだけでなく、障害を通じた地域連携や市民への啓発なども含めて障害をもって町で生きるその当たり前の権利を市民に伝えていくことが必要であると思う。また、障害をもって生活することが受け身ではなく、弱さが強みとなって多くのひとのつながりを作り出すこと、生産性だけで語れない様々な生活の魅力を伝えることができると思う。 ●障害支援区分の高い人の、地域生活におけるケア施設としての役割を継続することを期待します。 ●今後も、重度の方を受け入れるためのハード面、ソフト面ともに充実した施設であってほしいと思います。また、一般的な意見として、市立の施設は利用者のニーズを的確に把握し、最大公約数に対応すべきだと思います。また、時代の変化に対応する柔軟性を持つことが重要であると思っています。 ●他の事業所では困難な、最重度の障害のある方の支援を充実して欲しいと思います。それこそが、市立の役割だと考えます。 ●民間では受け入れ困難な方への対応。また、実際にどのような方が利用されているのか可能な範囲で教えてほしい。
	現在、ともしび園の機能は、障害者、障害関係団体等のニーズ等に合致していますか(指定管理料に見合う内容も含めて)。	-	<ul style="list-style-type: none"> ●現状はマッチしていると思う。これからは障害者の生活支援だけでなく、障害者の生活に関する市民の理解、障害者への偏見などをなくすように私たちと同じように生活しているという理解を促すなど。 ●医療的ケアやリハビリは、重要な役割である。民間のみが担うことはまだまだ難しい状況であり、市立施設が提供することに大きな意義がある。 ●概ね合致していると思います。
生活介護事業及び日帰りショートステイ事業における民間事業所との差別化の図り方について	医療的ケアの体制のあり方、長時間サービスの提供体制、他のサービスとの併設など、期待するサービス等についてお教えてください。	生活介護事業に関連すること	<ul style="list-style-type: none"> ●障害者やその家族が日々の生活で追い込まれないように支援ができることが大切かと思う。特に医療は二次障害などが生じたり、生活に直結した変化があるので活用して健康を維持できるようにしていけばいいと思う。長時間サービスはこれから考えていく必要がある。また、施設に様々な人が出入りすることで、障害を持つことが当たり前になるように市民の教育の場としても考えることができるのではないかと考える。
		日帰りショートステイ事業に関連すること	<ul style="list-style-type: none"> ●日帰りショートステイについては、夕食後までの時間であったり、送迎まで対応している事業所が他になく、民間では難しい内容でもあるので続けていってほしいと思います。医療的ケアに対応できるスペースも十分にありと思うので、今後積極的に行ってほしいと思います。
		共通・その他	<ul style="list-style-type: none"> ●現在の市内の生活介護事業及びショートステイ事業(日帰りを含む)についてのニーズやサービス量、必要量などの状況を確認したい。一時的に支給決定を超えるサービスを必要とする人等、重度障がい者への対応について、民間事業者との差別化を図ることが望ましいと考えます。 ●利用者個別のニーズに対応するための仕組みや人材の充実が求められていると思います。 ●支援学校(高等部)を卒業と同時にそれまでの生活パターンが大きく変わり、順応するまでに多くの時間がかかる方もいらっしゃると思います。できるだけスムーズに新しい生活に慣れるような環境づくりに期待します。また、親も子どもの環境の変化(各就学先の卒業後)のたびに生活パターンが変化せざるを得ません(親の就労先、時間も変えざるを得ない)。家族(親・兄弟)も安定した収入が得られ、安心して過ごせるように配慮したサービス提供を期待します。